

NEWS

忘年山行は伊豆の

大空山

期 日・十二月六日

集 合・午前時
 横浜駅六番木一ム最前部へ

費 用・約六〇〇円

※ ※ ※

大空山(五百一米)は天城側火山の一つで、あつて美しい茅戸の円頂を拾ひ、山頂に浅間神社が祀つてあるので「浅間山」

とも云う。東麓に展る高原はこ山を平原といふ。むかしから「先原三里」として名高い。

山頂の展望は広く雄大だ。近くには幕不山、万二郎、万三郎、遠笠山、矢筈

山など天城火山群の山々から愛鷹、富士箱根、丹沢の山々を望み、脚下には

山行は六国
 岐阜にて都合
 により大空山へ
 変更しました。
 11月集合にて決
 定いたものです。

[地図] 伊東



会則改訂案

去る十月二十八日付お知らせで、会則一部改訂案が提出され、十一月集会にて種々検討された結果、次の如く決りました。

尚改訂実施は三十五年一月一日午後一時です。

第三条

会員

本クラブにはハイキング愛好者で雑誌「新ハイキング」の愛読者なら、誰でも会員となることが出来ます。入会希望者は所定の用紙に記入の上申込るものとします。粗し、支部会費二期以上未納者は、会員外とし、一切の連絡事務は行なわない。

オ五条
委員
次
顧問
若干名、運営委員
三名、
山行係
若干名、

本クラブはオ四条の行事推行のため
次の委員を置きます。
委員
顧問
若干名、運営委員
三名、
山行係
若干名、

(解説) 現在幽靈的会員が居り、連絡事務を行なう場合統制がとれないため会費を半年以上滞納した者は、部員名簿より名前を抹消し、以後一切の連絡は行なわない。(部員とは認めない)

委員の任期は一年とし、代表者及会計は委員の互選により選出する。組し山行係は委員の推薦により選出するものとします。

第六条

本クラブ運営のため会員は次の金費を納入するものとします。

① 会額二回〇円 四期に分納

② 例会費として集金に出席者は毎日

会場にて指示された金額を納入するものとします。

大歓迎です。

会費年額二回〇円は不變ですが納入方法が
変りました。四月と六月、七月と九月、十月
と十一月、一月と三月を夫々一翻とし、各期六〇
円とします。

三十五年一月七日の例会より実施します。

尚三十四年度分は十二月三日より集金に納入願
います。

* * * * *

十二月三日(第一本腰)定期集会
◎十八時世合より、栗雲神奈川SSにて
本年度最後の集会です。大いに樂しまうで
はありますんか。

一月の山行も決めたいと思います。

スキーや、登山歩き、何処だー走ーなど、
良い題を考えて下さい。

△一応三月迄の今の山行アンケートを楚雲一
て下さい。(例会にて)

山行の結果でござり申していり。

井山梨雲樹光謙10月20日發表

八朝日新聞紙上にて

一サニースピーチは古い水も知れませんが
御知らせします。

八事アルス

○山小屋は北沢小屋、県営云河原小屋は流失、
鳳凰小屋、七丈木屋は全壊、北御室小屋、駒
七合目オ一、オニ小屋、白鳳荘、農鳥小屋、
西俣小屋は半壊、

○登山道、日早斐駒への尾白川渓谷ユースは前言
手轔流失、道木はほとんどくずれて登行不能。
鳳凰山への木戸川林道は最の鼻早橋流失、象
の鼻一押座石、青不内林道も殆んど荒れた。
白根三山への野呂川林道は轟、住山から奥は
歩行困難、同轟すや天、大門天コースもがけ
崩れ、轔流失などで登行不能。

ハハナ岳

○山木屋、青年木屋全壊、チレット木屋は半壊

大歓迎です。

会費年額二四〇円は不變ですが納入方法が
変りました。四月と六月、七月と九月、十月
と十一月、一月と三月を夫々一翻とし、各期六
円とする。

三十五年一月七日の例会より実施します。

尚三十四年度分は十二月三日より集金に織入
いたします。

* ◎ * ◎ *

十二月三日(第一本町)定期集会

◎十八時世合より、東雲神奈川S.S.にて
本年度最後の集会です。大いに樂一もうで
はありませんか。

一年の山行も決めたいと思います。

スキーや登山歩き、何選た一セイかなう?
良い題を考えて下さい。

△一応三月迄の今の山行アンケートを楚坐ま
て下さり。(割合にて)

山梨奥越光輝 10月20日発表

山梨奥越光輝 10月20日発表

サニースピードは古い水も細めません。
新知らせします。

八南アルス

○山小屋北天小屋、県営云河原小屋は流失、
鳳凰小屋、七丈木屋は全壊、北御室小屋、駒
七合目オ一、オニ小屋、白鳳荘、農鳥小屋、
西美木屋は半壊。

○登山道、甲斐駒ヶ尾白川渓谷コースは前言
予報流失、道木板ほとんどくずれて登行不能。
鳳凰山への小武川林道は裏の鼻平橋流失、裏
の鼻一押座石、青不内林道も殆んど荒れた。
白根三山への野呂川林道は蟻、住山から奥は
歩行困難、同春ナギ天、大内天コースもガケ
崩れ、齧流失などて登行不能。

八ハナ芸

○山木屋、青年木屋全壊、キレット小屋は半壊

NEWS

昭和34年12月15日刊
S.H.C 横浜支部
編集・影山元芳

35年度初山行は、丹沢山塊

大山 ↓ ヤビツ峰 ↓ 苦提峰 越え

期 日・一月二十回（日帰り）

二月は霧ヶ峯・高原

霧ヶ峯スキー合宿

期 日・二月二十一回・二十二回（前夜発、一泊）

新年底行はのんびりと歩ける場所を選びました。おもしろいペーティでもいかゞでーようか。二月は初のスキー行を行ないます。現地指導員による技術指導を行ないますので初めての方も安心して仰参加下さい。そして大いに楽しちゃうではありますか。

三月は未定です。係の小川さんが良い処へ案内してくれることと思います。仰期待下さい。



1月24日 新年山行

伊勢原 大山町 下社 大山
一ツ峠 —— 善提峠 —— 大秦野又は
寒天

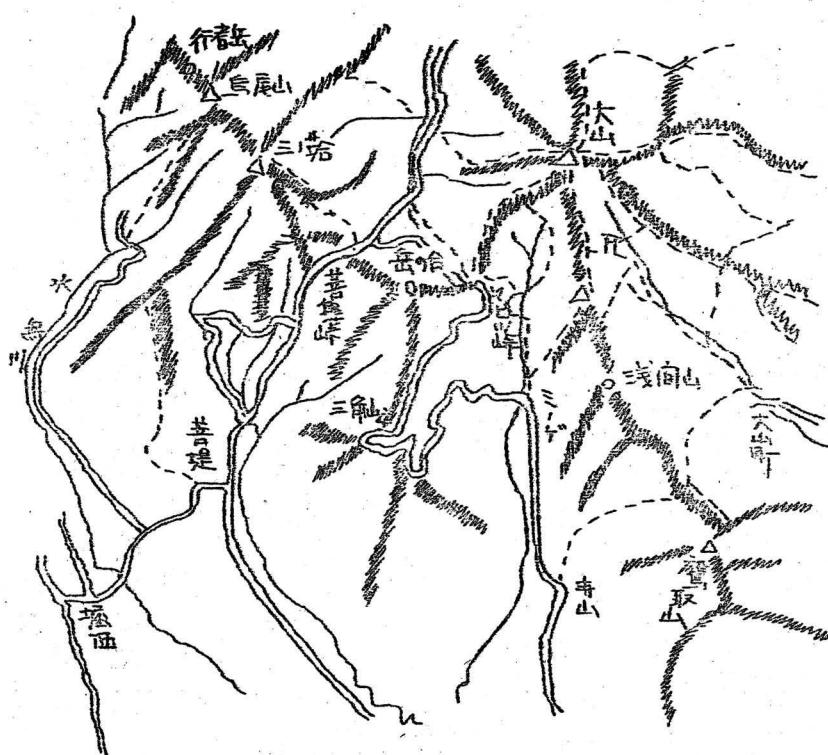
人係中博

横浜市南区中島町四一七六

大山（三四五六）は丹沢山塊の東南端に独立峰として聳え、特にピラミッド形の雄大な山容は信仰のみならず、その山岳美をもつて多くの登山者から親しまれてい。頂上には阿夫利神社奥宮があり、パノラマの展望は、富士丹沢、箱根をはじめ、奥多摩、秩父の連山等、足下には関東の大平野から相模湾までへだてゝ江の島、三浦半島、大島までも望見するこ不出手。

阿夫利神社下社は中腹にあり、それより山麓一帯にかけて名所古刹が多い。
△地図▽ 秦野（五万分之一）
△費用▽ 約三〇円
△集合▽ 橋本駅相鉄改札口

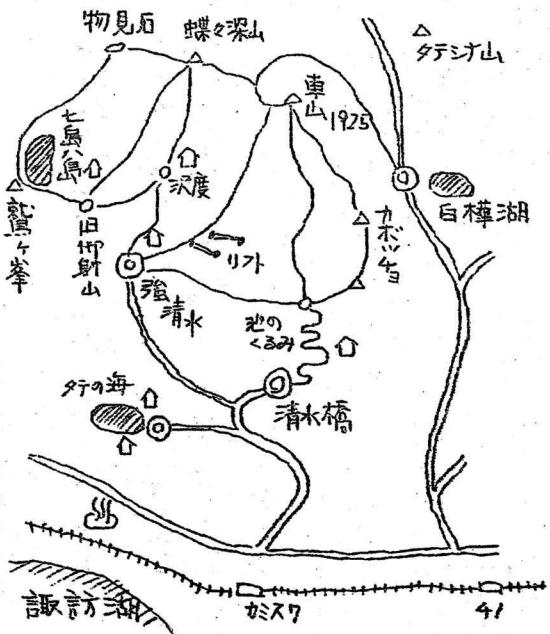
午前七時



2月21日・22日 スキー一宿

上諏訪 — 強清水 — スキー場

湯の町諏訪市の効外バスにて一時間
余、雪に埋れる木立の間を登り突然開
ける高原は、一望遮ぎのものない一
大雪原です。積雪のこの雪原は四圍に
富士、日本アルプス、ハケ岳、浅間山
等を遠望し、その景観は日本觀光百選
に入っています。



△費用✓ 約二〇〇〇円(スキーレンタル代含ま)
△参観✓ 影山元芳

横浜市南区中村町二一九二
tel(51)一三五二六八三六

△予定✓
21日 講習会(現地指導員による)
22日 午後現地発帰渡

旅館に申し込みも關係で参加希望者は
添えて一月一日までに係へ申し込み下さい。

スキー及クリ走道りの人は申し込みの際申
し添えて下さい。(靴の文数等も)

現地にて指導員を依頼しますので、二月一
日以降に申し込みを取消された方には申し込
金の半額だけ御返却致します。御承知置下さい。

旅館は松天山荘又は強清水山荘を予定
借スキー及靴代各へ五〇〇円

理論講習会について

十一月例会にてハイキングの知識普及の意味で理論講習会的な講議を行なつたらとの話が出、検討の結果、取扱えず左記の予定を推めたいと存ります。

一月 服装について

(影山)
(小川)

二月 装備について

三月 地図の読み方について

以上を受持つ方々もエキスペートではありますんで皆様と一緒に勉強して行きたいと思います。

支部集会予定

二、三月の集会は次の何つかの日を選びます。
決定次第連絡致します。

二月四日(オ一木) 又は九日(オニ火)
三月三日(オ一木) 又は八日(オニ火)

表沢

丹沢の登山口で小田急の急行電車が停車する。この地名は土地の西端にわき水水あつて、その赤さび色をしたシス色の水から表沢と呼ぶと考える人もいる。

また昔から表かキの産地でシスを探つて小田原へ売り出し、そのカスを川に捨てたので表沢の地名が起つたともいう。

これらの説で **地名のゆかり**

人が住み、カキを育て、シスを採る仕事を起つてから

つけた地名ということになるが、實際は表沢の地名は地形にゆかりするところからである。シス(ヘシ木)は狭い谷や谷口である。駿河附近は最近開発されたが昔の表沢は丘陵と台地との間の細長い村であった。(神奈川県中郡)

後記

街にも霜を見る様になりました。

スキーに表山に、お雑煮は山小屋でと、月中にも正月山行に、いろいろと楽しいフランを待つていい年と存じます。

正月例会には元気面貌を見せて下さい。

NEWS

昭和35年2月25日 刊
S.H.C 横浜支部
編集・元山影芸

丹沢主脈縦走

(係・小川竜利)

三月二十七回

二月の例会にて検討の結果決まりました。

支部発足後初山行も主張でした。今回も同じコースの予定です。

皆時々人を半介位しかいませんので、新鮮なる是介で望めるのですが

ないでしようか、期待しています。

多数の参加を望みます。农家乐がいますからせきの方も来て参

加して下さい。

地図五万分の一 泰寧

費用 約500円

時間：

午前六時半より

東電神奈川サービス
ステーション

場所：



詳細は三月八日例会にてお知らせします。
例会に来らぬる参加を希望される方は後に往復ハガキにて所要令せ
下され。

三月二十日
丹沢主脈縦走
集合場所：泰寧
集合時間：午前六時半より

連絡致一ます。

右の如く行ないます
会場の都合悪い場合は

六月以降は追つて連絡
致一ます。

奥高尾、玄岳にて集中ハイキングを過去に行ないましたが、今年
は奥多摩にて行ないます。詳細は三月号の雑誌に発表を出します。
当支部のラン詳細は次号にてお知らせします。

前 期 の 山 行

2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月

本年度前期(九月まで)の山行は次の様に決りました。ネームバリューのある山を選びました。振つて参加して下さい。

四月 奥秩父 小檜山
五月 奥日光 白根山

(香取)
(影山)

六月 未定

(八田)
(中山)
(小川)

七月

キメンフ

上越 国境尾根縦走

八月

奥秩父

みかき山・金峯山 (中山)

九月

部員カードの希望欄に記入された場所にそつて決めました。以後も同様にして山行地を決めたいと思ひます。

ベートード 未定出の方はない。
ベクトル早く提出して下さい。

今年の山行は夜行を利用しますので参加者は、
山行の前日二日位は熟睡すること

準 山 行 と し て

井沢の歩き

四月から十一月まで毎月一回、母天の沃走りを行ないます。プランは次の如くです。係は小川竜利代です。日時は例会の折にその詳細を発表します。最初はかんたんを沃から入りますので初めての人も振つて参加して下さい。大いに樂しんで下さい。

四月 クズヘ天 又は 源次郎沃

五月 新宣の沃

六月 ミヤヒ沃

七月 勘七の沃 又は 水無川本谷

八月 竜郷沃 又は 同角沃

九月 キラハ沃

十月 ヤ沃 又は 井沢以外の山行

撤去されし草軽電鉄

三月未で一

マツチ箱の様な特異な形をした電車で親しまれていた草軽電鉄も、此の三月未日で、新幹井沢—上井三原間、三七・九キロがとりはらす。此のなつかしい同線の廃車は、三原—草津南一七・六キロだけとなる。

かわりに草津—草津直通バスと、北軽井沢—上井三原間のバス運輸を行なう。尚転換完成は八月頃の予定と云われている。

すでに地元では東武鉄道系の谷川岳ロープウェー会社が、土合一天神尾根、奥二十七石のロープを申請している他、同尾根に大スキー場新設が具体化している。又、一倉沢六通じる観光自動車道も37年には完成の予定。そこで二山らの地区へ国民宿舎、簡易宿舎、休憩所、駐車場、運動場などを整備し、谷川岳麓一大大衆レクリエーション施設にする構想がたてられている。

35年度支部委員会開会式

小川・中山・鶴見三氏在席

去る二月九日支部例会にて、35年度の委員を選出、左の方々が選ばれました。皆様方の御協力お祈願りし、本年もクラブで活動してもらひます。

代表者、中山 博氏

小川 意利氏
影山 元茅氏

代行として次のオーディションを行ないます。
化山行係として次の方を審査一歩一歩。
八田 駿雄・齊藤 清四氏

会計
影山 元茅氏

スキー場新設の内に終りました。
参加者九名で盛況のうちに終りました。

スキー場新設の内に終りました。
参加者九名で盛況のうちに終りました。

二月二十一、二日に行なわれた初ウスキー行も、初めてスキーを付けた人も何とか滑れる様になりました。幸い、一人の事故者もなく元気に帰りました。翌日金社ではラーラーとやつたり、飲が痛く頭玉しかめでいる人もあるとかで一歩。

NEWS

NO.4.

昭和35年4月5日 行
S.H.C 横浜支那元老会
横浜支那元老会集会

大三回 奥ハイキングは、奥多摩二ヶ岳(アオダマニガタケ)

当支部外赤杭尾根ナリ登ります。(係中少博)

期日 田月一〇日、(川苔山々頂 午後二時)

集合場所及び時間 横浜駅、東横線木一ヶ最前部 午前六時十五分(必ひず半つて下さ)

費用 約五〇〇円。(切符は武藏小杉駅至由、青梅線古里駅まで購入) (アオシマコウリヨウコウリヨウ)

ヘコツバノ・古里駅—赤杭尾根稜線—三ノ戸山東面—赤杭山—桃一木平—

海老小屋山北の鞍部—眞名井沢、頭—狼新道—川苔山。

帰路は全員で永川にて下る、予定です。

大岳山と多テ川を障て、相討する川苔山は、大岳山に比して一段とその山容も大きく又地形も仲々変化に富んだ面白い山です。山頂には三等三角点があり、標高一三六三・七メートルの展望は仲々雄大です。

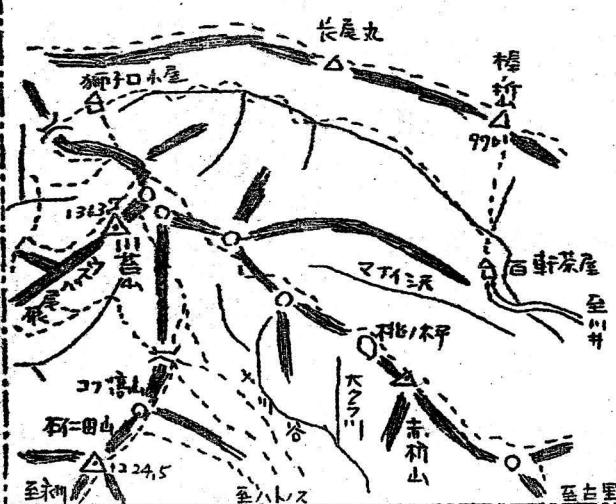
各支部のコースは次の如くです。①日は前夜祭です。

「大井沢川」①本部・荒川支部、「仙元峠」千代田
「眞名井沢」品川・②江戸川・台東 「鳴首峠」狹文
「有馬谷」埼玉・③世田谷

「川乘谷」武藏野、④太田、⑤江東

「赤羽尾根」橘美、川崎、目黒、城北

「本多田山」中央、堺、足立。



オ29回支部山行

奥秩父 小 橋 山

四月二十四日

集合場所及び時間 横浜駅三等待合室、午後八時
ハコースン 塩山 — 宝平 — 私口 — 雲法寺 — 一木

倉山 — 小橋山 — 燃山峰 — 金雀泉 — 萬川沿
— 私口 — 塩山

費用、約七〇〇円 (地図、切手昇仙峡)

乾徳山の西南に一七一三メートルの峰頭を有す
た小橋山も春や秋の軽いアロマナードには實に申
し合ない山である。

小橋山は一名「椎鉢山」といへ、「古那羅山」
とも作る。頂上は南北に細長い一面の丸い草原
で、こゝを「錫杖が原」と呼ぶ。二等三角点はそ
の最南端にある。高度はさして高い方ではないが、
あたりの山々から独立して屹立してゐるので眺望
よく、南アルプスの連峰や富士、奥秩父
の山々、大菩薩連嶺、八ヶ岳なども間もなく望見す
ることが出来る。

准山行、丹沢の歩きオ一回

四月十七日 クズハツ又は源次郎歩

横浜駅相鉄改札口

七時〇分発、准山行に乗車。

参加者の希望により「クズハツ」か「源次郎歩」
かに決めます。

暖かくなるにつれて水が遠くなつて来ます。
初めての方も振つて参考して下さい。

(保 木川龍利)

オ30回支部山行

日光白根山 五月二十九日 又は二十一日

オ31回支部山行

六月初旬

籠の登山

オ32回支部山行

北ハヤギ 横岳附近にてキャンプ(ニ泊)

(保 斎藤
清)

七月下旬

東西

◇大菩薩峠と乾徳への臨時バス

丹沢大倉・ヤジツヌカベス南浦

四月十六日まで新宿発23:30の中
央線臨時列車に接続して塩山へ列
車（42着）から連絡バスがある。

去る三月十五日から神奈川由美交通バスにより、
大秦野駅——ヤビツ峠、紫沃駅——大倉山が新規
しく開通しました。

ロシアの歴史

毎休日朝4:00甲府発、夜又神崎行バスが出て
いる。新宿23:30発、甲府3:10着の臨時と新宿23:55
発田舎3:29着の列車に接続

奥秋山の家作設

奥多^{オト}河上流の丹波村に民家を開放した「奥秋山の家」が開業した。バスで丹波終点から十今、篠設丹波山荘付近。自炊一泊一五〇円、年中無休。収容五十人。連絡は山梨県丹波山村奥秋、不下鳥

◆東洋で上級行口アーティスト運転

保。(永川駅前、奥多^ノ中央観光案内所報)
△東武^ノ山岳夜行口マソスカ一運転
四月三日から毎日、旺・祝日の0・20、^ノ草祭、東武
日光行き急行が走る。座席指定、予約制、急行料

金言

所要時向一五分、料金二〇円

大倉線

△甲子土、田、錢田運轉、所定時間五五分。料金

卷之三

大倉

大秦野駄祭	ヤドリ祭
△七・三〇	△一四・〇〇
△七・五〇	△八・三〇
△一五・〇〇	△五・〇〇
△八・五〇	△一六・〇〇
△九・一〇	△六・二〇
△一五・四〇	△六・三〇
△一六・〇〇	△一七・〇〇
△〇・三〇	△一七・〇〇

みの
妻

小田急大秦野駅からバスで十五分。東丹沢登山口でシーリングには登山者でなく、平定朝時代は信仰の山大山への登山口として知られ、富士への登山者はやらず、この養毛を抜けて大山へ来る。

女神をあらわす富士と異体をあらわす大山は切りはなすことほ出来ず、いまでも相模地方では西山を一つのと見ている。ミケの起源は、金日川に生つていて、これが水見山のことから、水の滝(みのの滝)と云われ、これが養毛と云つたと云う。登山口の大山脇下は、鎌倉時代の仏像や觀音像が安置されていて、雨キリのため腐朽がはげしく、園係者を心配させている。

東丹沢の一角、秦野市内では毎年イーンシシの被害が一番多い。鎌倉時代、山下に總送り場があり、常設の舞台があつた。ブタが転化して不タイと云つたと伝えられる。この付近は古墳数も多く、当時は秦野盆地で最も繁栄したところらしい。この加羅古神社は秦尼が祖神を祭つたと云うが、秦野盆地は秦民族の居住地であったことを物語つている。最近開拓工事で下さる。

標高八〇〇メートルのハイキングコースと丹沢湖登り初心者向クズヘリコースで知られ、市鏡光保で年々入出している。県下でも言葉の十マリが最も多く、昔からいへんシ物語を数多く伝えらる

地名の由来

秦野の由来 神武天皇の十四年(一一四年)

日君が百余人を連れて日本に帰化、ハタノ盆地でハタ職業を営み、波多野姓医名乗つて本ら、この地名が生れ

たと云われる。保延三年(一一三七年)藤原秀郷の子孫、波多野次郎義通水領主となり、現在秦野東中学校裏に波多野城跡の一部が保存されている。明治初期まで盆地に十日市場が立ち、相模郡の商業中心地でもあつた。盆地特産のたばこ、若花庄、菜種は、宝永年間(一七〇〇年)富士噴火後、火山灰の煙からつくられたもので、今まで農家の主要財源となつてゐる。

朝日新聞

第三回全支部集牛ハイキングを行なわまずが、当支部は過去二回共参加者少くため賑つて参加し

卷之三

筆の塔山(六諸・上田)

のあたりも、初夏とも重ねば訪山の人も少なく、六月下旬には天竺記念物の“レンゲリツジクの群落”が我々を迎えてくるのであろう。

卷之四十一

〔寒舍〕十一日下午八時，櫻系駕三等客合室

[費用] 約二二〇〇元

正 —— 騎 —— 三方ヶ峯 —— 駒ヶ岳 —— 小諸 —— 高駿 —— 口 —— 上原 —— ハーク

田母子十丁

() 場合に外つては庄鹿沢及奈川を至て上駅と
下駅と歩行時間約四時間半。

文選卷之三

以前向一日水、一空、

卷之三

二十一

連峰のハイキング

久が容易になつ

三。冬也高峰

原スキーリー

二二九



注

〔條〕八田幹夫

中華書局影印

麓、華山の西面にそびえる三方ヶ峰（二〇四〇米）は田噴火口と称せられ、四、五〇米の窪地、池の平を中央に開いて高山植物が多い。

火口跡に亘面して二三。

一尾、アカガレなど種々の異名がある。また最高
峰と東峰との中間の北側はみずみずしい黒木に覆
われていて、南側は見事な赤褐色の断崖で深天

雄山行・丹沢の次歩き。

第ニ回、新直の次。

五月二十九日

オ三回 リビンの次。

六月二十六日

オ田四

勘七の次。

七月十七日

集会、何れも同じで。

横浜駅、相鉄改札口 六時五十分

係、八川竜利

四月十四日、川苔山・十七日、深次郎天

〔報告〕
オ一回は源次郎次で行つた、参加者七名。
快適な歩きを味わつたとかで、もう尾根歩き
す"イヤ"と云う人がいたようです。

立夏も過ぎ水が底しくなる人が多いと思います。
これを機会に二回以降の山行にもぜひ多くの人の
参加を望みます。又、会員外の方反対もお説
いに余つても結構です。

(注) 嘉命時間は前記の如くですが豪雨の場合には
知らせ一せず。時刻はどうぞお手て下さる。

◎ 第29回支那山行は丹沢で。

当クラブの会員である「山崎・大
さんと小塚・嘉・ナ・セシ」は四月十二日に押送船され
ました。新居は中山駅の近くヒューリーです。



押送船された方

四月二十日、タマ山行は奥秩父・小檜山で一回
と一ヶ月に三回をクラブ山行があると不足不満
のもの無理反対といいます。一考の要あり。

ガイド

奥多摩の新緑

山ろくね谷沿い奥多摩湖とも銀一色にぬりつぶさ
れ、山は千〜一千五百メートルで葉がきはじめ、
ニキメートル(駒駅、大菩薩)はまだ冬の終り。
ヤマスギがまつさかりで黄一色。低い山ではワラ
山が始め、丹沢天平は五月十日ころから。

(奥多摩中央觀光案内折報)

クラブ集会日

当支部の定期集会は、設立以来、昨年まで毎月第一木曜日に行なつて来まつたが、月始めへそれも五日以前などと種々都合が悪い方が多く、出席率が非常に悪いへ最低六名の時がありまつた。秋

それで本年度から毎月第一火曜日

それで本年度から毎月第一火曜日に集会を行う様に致ります。以后集の都連絡は特別の事がない限り致しませんから御忘れ下さい。また御願い一端

前回の田舎を第一回と、次回田舎を出行する以前に行なう三の講演では、先づ田舎の風景を発表致します。

九四十三四十四十一



大垂水
祖が国境の小仏山系にあり、低い
ところから名付けられたもの。
垂水は山の端の所で、いつも出火が豊富な所であ
り、やの町は昔となくていい。垂水町道は
昭和二十年に改修され新国道は南側を通り、傾斜
の緩やかな舗装路
で昔の名残りが残る。
大垂水の通じて
日本と美しい祖國
外人連キタ前命ハトハトヘテニシベツラ
五輪大仏が一トーレースが祖廟地で體さる
觀た。かつてにぎりつた御靈廟は休業してい
る。

NEWS

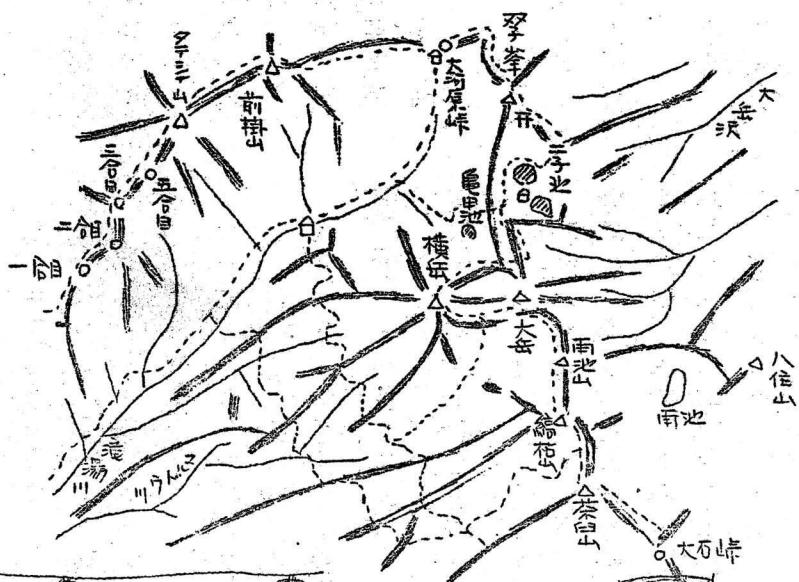
北八ヶ岳 ニ子池付近にて

キャンプ

7月30日 前夜登

31日 二泊三日の山旅

8月 1日



北八ヶ岳付近略図

定例集会

7月12日

(オニ火旺日)

乗電神奈川S.S.

18時30分より

キャンプ参加申込

6月30日まで

中山博 宛

横浜市南区中島町4-76

ヤン・ア・ス スキー場

今年のヤン・ア・スの話は六ヶ月前からあります。一昨年は丹沢三十六ヶ岳、昨年はアルプス縦走でヤン・ア・スは余安らをつたが、今年の二月、スキー合宿を行なつた際には、新規へと人気も伸びて、毎年運動会も開催するなど、大変元氣です。

そこで以前年三回の合宿の一年を幕ふ間に、これまで行なった五次合宿、四次合宿、第三次合宿で、今年は題材を決めようとして、年間であります。田舎リラクゼーション

（以下略）

例は三四回とも書かれたが、折角やる連に、あの程度の山を意識なく攀登し、少しあれ私たちの山歩きを練して、又運営委員会もかたにて行って、こういはありませんか。

一人でも多く人が参加を取ん事を希望してます。ヤン・ア・スの前回の合宿は、今年西日本で行なわれました。ヤン・ア・スは、その打合せ会のときから連絡の

とある。

四月一日（火）晴

七月十九日 徒歩にて出発

八月三〇日 晴 駒場＝鶴湯——大河原駅——双

山——ニコ波キヤン・ア・ス

積雪往復

三十一日 キヤン・ア・ス館——大河原駅——夢

駒山——龜原池——キヤン・ア・ス

八月一日 キヤン・ア・ス館——大河原

駅——一八〇〇日便

四月一日（火）——

夢駒山（四月一日）——

山形県三日市七三米。南北二八の峰から成り、

山形駅付近、奥峰は磐梯郡羅大天神の石碑水衝請してある。山形ひとみがとこひせ舞の方からへりててこの。山頂にはハサウエ、夢駒山ともいはる南アルカドアスが一見れる。

参画者は全員歩きで下りた。山形駅付近、奥峰は丹波山をもう少しここで眺めても構しない。水を山溶もあり、ここでも構しても構しない。

くその名が漏らし、正義が日本一未體で博士の号を取
り候ていいとこちがい「誠善博士」の名前があり
更に日本第一の醫學博士の名前で號を取る。近頃
木馬駒、北アルゴスに馬車と並び、見えない
ところがなくほどの事。されば一等の農夫も

新家ニリースの集合時間は午後二時半、ハ、た月の歌參きは前夜祭ヒーロー詩録は次第にて
山崎民夫、山崎嘉子さん的新居は
横浜市港北区中山町一〇〇五番地
及東野さんとの住所が變りまーた。
横浜市金沢区六浦町、

▽天鵝君代々く、都にから五日に選部が一
た。前健斗を歓迎します。

(五十五) 小説文庫
父兄の書

前略、今、萬年筆を廻上を少し廻し緑色に變り
うとしています。

山腹には新しくす向指木盤をとりつけ、毎日胚は大勢のハイカーを養んでおります。

我支部も員員が二十二名となり、ほとんどの大河原新作の作品にて、新作、暴走等へ圓満の上りをからだ筋、骨、身、髪、脚、頭等、田代白根、脚草、武田、藤田、山野、鈴木、久保田、二川、山行及旅行しております。貴支部はいかでありますか、地理的を關係で、今回山行が出来ないのが残念ですね。一度は行きたいものですね。

二、少當年率は年率の二倍である。この事実が、日本本邦の年率は、支那の年率より高くなるのである。



◇ 丹沢山より。

表尾根に便利な小もとウバスのうち、この春のびた大倉——大倉口と養毛——ヤロツ峰面西面のあとなどは道が悪くて廻休することがあるがうだ。草仏山荘の主人が丹沢のトトコースを集めてかイドスリク「丹沢」を作り、山荘と山もの店にありてある。ホケット判六十六頁、55円

◇ 丹沢山村の地図。

奥多摩湖の上流、丹沢溪谷を主とした丹沢山村全圖(二万五千分の一)が発行された。地名、登山路、名勝地名など地理調査前の地図を補正

し正もうで、登山用に便利。

希望者は郵便六十八円を

東京都奥多摩町氷川

駅前、

◇ 小田原城の天守閣

再建され五月末から

公開した。一階は郷

土物産、二階が郷土

資料、三階小田原城

歴史資料、中四階全

五月山行は柳沢峠より大菩薩峠に譲更(三名)六日山行は桂川より接近の報にカリヰ山と伝つた。

国城廢写真を展示、日暦は露盤で望遠鏡もあり

は此ていたら大島、真鶴半島、房総、三浦、江の島、丹沢山塊などがみえる。入場料大人三〇円、夜十時まで水銀灯で夜照明天。東海道下り線左側のみえる。

◇ かのの便り ○ 川の流れに沿つて神ノ川をさみのぼつて来ました。

長者金山荘の泊り客は私一人。あまりの静けさに川の音が、ヤケに大きく聞えます。

明日は金山乗越みらユーニンの方えぬるつもりですが、時間がなかつたら岩木沢を以つて、炬次から音根へと下るつもりです。(エ)

◎ 久し振りにすこにめぐり概くおじきした。木さんがH、のさんの二人が来るとしてお待ちになりました。私も待ちましたがどう／＼お見えになりませんでした。どうして至かと心配していました。繪はねき有難う。伊勢佐木町の姿には驚きまーた。どこへも出られぬ私には實に有難く良い見物が出来まーた。(ケニトクのオババ)

NEWS

昭和35年6月19日発行
S.H.C 横浜支店
編集 影山元芳

県で登山講習会

申し込み 28日まで

夏山シーズンを控え県教育委は、
県山岳連盟と共に、本年度第一回「登山講習会」と開く。

【健体講義課、又は教育事務所、各市
教育委へ。】

最近は登山熱上昇の半面、事故も
小える一方だ。

山の事故防止と安全登山を普及す
るために、登山の一般技術のあらゆ
る面を体得してもらおう——とい
うもの。

7月2・3日

(一泊二日)

△コース＝横浜線橋本駅——鳥屋——本向天
本命——笛平——スベリ巻上——ベニモ、巻
上——大倉上——吳苔原小屋山荘(宿)
蛭ヶ岳——白ヶ岳——桧洞丸——石棚山——
幕末——丹川温泉——御殿場線谷戸駅

△定員五十名

△指導内容＝一般技術、装備と食糧、安全指
導と事故防止、山岳気象など

△申し込み＝今月二十八日までに県教育委保
持

キャンプ打合せ会

7月5日(火)

東雲神奈川サービス・ステーション

午後6時30分より

参加者は必ず出席のこと

支部山行三日目

△ 七月三十、三十一、八月一日

井ハルキヤニアフ。(四)三日目

△ 八月十四日 (前夜發)

井蓬春越え (老と子見物)

(新規)

井次ミーティング

△ 七月二十九日 八月二十六日

朝登日帰リ

△ 勘七の天 七月十七日

(前夜發)

△ 竜郷天 八月二十八日

(前夜發)



クラブ山行について皆様の御意見を伺いたいと
思います。大いに述べて下さい。
四月以降前期の山行の半今年終りまつた。毎月参
加者の少ない水溶しく思います。今後バハ部会
をつけて参加して下さい。

後期の山行地を決めたいと思います。皆様方の
希望に賛える場所を選んでいたと考えてますので
七月十二日亥ニ火ノ集会まで、各人の希望
山行六ヶ月令を征求意见下さい。
十月の山行、十一月×メ年
とシラウメにて記入して下さい。

尚十二月は忘年山行 一月は新年山行です。
又二月は二泊三日の予定でスキーコンペを行なった
と思ひます。あまり表きない詳かなスキーコンペ
が存知のすまませんか。

アシナート山行

支部山行後期の



△ハケ岳県界尾根

昨年の台風以後情報が得られない本
月が五月三十一日から六月二日
まで現地を調査、次の事次第だ。

④ 大天狗付近常に荒れて県界尾根上り口と真教寺
尾根の登路ボウカリにくい。

⑤ 県界尾根取り付せぬから尾根の上まで(野辺山
口との分歧まで)の樹林帶は倒木で歩行困難。

⑥ かしは左右とも異端なし。

⑦ 尾根上へ分歧(水)から大天狗(二四四五メートル)
間も倒木あり。

⑧ 大天狗から赤岳頂上まで登路異常なし。

⑨ 赤岳石室、オーレン小屋、硫黃石室は連休以外
番人住む。赤岳石室とオーレン小屋は六月一

日から電話開設。赤岳石室は長野、茅野、赤岳。
オーレン小屋は長野・茅野・オーレンで通話出来
る。東京から一通話八〇円。

⑩ 県界尾根の登路は樹林帶ナリも左のかしを利用
した方がいい。

⑪ 大天狗付近樹林帶に残雪。赤岳頂上下に多量
の雪。この二〇日ごろまで残る見込み。

(山梨交通観光課報)

△駿河湖への因縁バス(花栗線)再開

六月十日から。長野原—駿河湖向の直通車一
日二往復で長野原発10:30, 13:10, 駿河湖発10:30
14:20, 佐道一五〇円。駿河湖周辺は下旬までレ
ンタ、ツーリングが満喫。七月不らキャンプたの
しめ。

△ニの夏の富士山

富士宮口の登山バスが新三合目までのぼる。

去年は新三合目といつていて、道が悪くて三
度目の二、三百メートル年前までさつた。高さは
二千メートル。

① 両生料金は、素泊三五〇円、茶代二〇円、焼印
三つまで十円など去年と同じ。

② 船津口が今年から湯口湖口と改称。

③ ニ山中では八月二十五日頃で一部の山小屋がし
まつたり、富士宮口バスボーマーティー(水
今年は八月三十一日まで小屋もバスも営業をす

● 富士急行(田富士山麓)の登山バスは、今年又
リ運行本数がふえている。

(東京中日新聞より)

35.6.19.

NEWS No.7

支部報「した」6回未〆切

我支部の機関誌“した”、六号を発行するに当たり

今員皆様より原稿を募集中です。

皆様方より御協力により五号は毎年また発行出来ま

した。本年度ま二回発行の予定でオ一回目前之日

二回目もまだ、原稿の集り悪く、七月半旬に延期

十六七回。

詩、俳句、短歌、紀行、隨筆、声、等何でも結構

です、振って御投稿下さい。

支部發展のためにも皆様の御協力を仰願します。

○ 計画
舊称市南区中林町二十九二

影山 元芳宛

お知らせ

○谷川岳山前き 七月三日
△映画「マルヒニスト岩壁に登る」は来る

二十日より、野毛、ヨコハマニース

にて上映されます。

△横浜駅にキヤンアの案内所

東京局が今年も二十日から八月二十日まで横浜駅待合室内にキヤンア案内所を

開く。毎日午前十一時から午後七時まで

△伊東にユースホステル

全国で十番目のユースホステルが、伊東温泉に

公来、十七日から営業開始。

国鉄伊東駅から下田方面行きバスで十五分(25分)

小室山公園入口下車、道標に従つて徒步十分。

一泊一千円。朝食は一千円、夕食一千五百円

△尾瀬に行きたい人のために

東武で東京から直通バスを運転。由し込みは東

武案内所へ。へ左記にその一部を載りますし

A 11時夜発一泊。六月八月の土・火曜・沼、

原古まわり懸・至仏に登る。

C 11時夜発一泊。六月八月の金曜発。沼・原へ。二ツコウキスドの坂は水、不旺にも立

(東京都奥多摩町米川駅前)

(東京都奥多摩町米川駅前)